

授業科目	子どもと健康(2年制コース)				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	篠木 賢一										
授業概要	こどもが自らの体や健康に関心を持ち健やかに成長していくために、幼児期の体の諸機能の発達や生活習慣の形成を学びます。また、生活習慣の獲得を促す環境や援助方法について考え、こどもの健康管理や安全管理・安全教育を学び、安全で健康的な園生活を過ごすための配慮などを解説します。										
授業形態	講義	授業方法	適宜グループワークやディスカッションを取り入れる。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 幼児期の健康課題と健康の発達の意味について説明できる。</p> <p>2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を説明できる。</p> <p>3. 安全な生活と怪我や病気の予防を説明できる。</p> <p>4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を説明できる。</p> <p>幼児期の健康課題や体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し、説明できる。また、幼児期の運動発達を理解し、安全な生活と怪我や病気の予防を説明できる。</p>										
理想的レベル	<p>標準的なレベルに加え、幼児期の健康課題や生活習慣の形成を理解し、こども一人ひとりの発育及び発達に合わせた援助や配慮を考えることができる。</p> <p>また、こどもの危険に対する身体的・認知的特徴を理解し、起こりやすい事故について考えることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート	40%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	40%				各授業で取る出欠票に記述した授業内容から、授業理解度と授業貢献度を合計したものの						
その他	20%				各授業のまとめと内容に関して調べた記述を評価する						
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH11302J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
当該部分の予習・復習をする。										4	
授業計画											

第1回	<p>テーマ：オリエンテーション・幼児期の健康①</p> <p>本科目の内容や講義の進め方について説明する。また、健康の定義や幼児期の健康の意義について解説する。</p>
第2回	<p>テーマ：幼児期の健康②</p> <p>子どもを取り巻く環境の現状を知り、健康課題について考える。また、子どもが心身ともに健康な生活を送るために、保育者の役割について解説する。</p>
第3回	<p>テーマ：こどもの発達と健康</p> <p>こどもの発育発達に伴う基本的な生活習慣の形成過程を学び、保育者の関わり方を解説する。また、こどもの発育及び発達の特徴を学び、一人ひとりに必要な援助や配慮を考える。</p>
第4回	<p>テーマ：安全な生活と病気の予防</p> <p>こどもの安全教育・健康管理に関する基本的な考え方について解説する。また、幼児期の怪我の特徴や病気の予防について解説し、園生活における安全管理について考える。</p>
第5回	<p>テーマ：幼児期の運動発達と身体活動</p> <p>幼児期の運動発達の特徴を学び、基本的な運動とその分類について解説する。また、日常生活における幼児の動きや経験を考え、保育者の援助方法や配慮について解説する。</p>
第6回	<p>テーマ：幼児期のあそびと安全管理</p> <p>月齢・年齢と遊びの特徴について学び、環境の役割について解説する。また、こどもの危険に対する身体的・認知的特徴を学び、起こりやすい事故について考える。</p>
第7回	<p>テーマ：幼児期の健康管理</p> <p>園におけるこどもの健康管理に関する取り組みを学び、家庭との連携を考える。</p>
第8回	<p>テーマ：まとめ</p> <p>授業を振り返り、まとめのレポートを実施する。</p>
テキスト	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>参考書・参考資料等</p> <p>コンパス 保育内容 健康、前橋明（編著）、建帛社、2018</p> <p>事例で学ぶ保育内容 健康、無藤隆（監修）、萌文書林、2010</p>
課題に対するフィードバックの方法	授業終了後に各自の課題について解説をおこなう。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

「子どもの運動あそび」は関連が深い科目です。関連づけて授業にのぞんでください。

学習した内容をノートにまとめるだけでなく、観察実習やボランティア活動の際に、子どもや保育者をよく観察してください。